



令和2年3月22日（日）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
保健医療課	感染症対策係	居波 由紀子	内線 2543 直通 058-272-8270 FAX 058-278-2624

新型コロナウイルスに関連した患者の県内での発生について

本日（3月22日）16時30分頃に、岐阜県保健環境研究所より、新型コロナウイルスに関連した感染症の症例の報告がありました。

岐阜県在住の患者の発生は4例目及び5例目であり、3月21日に医療機関から帰国者・接触者相談センターへ連絡があり、検査の結果陽性が確認されたものです。

記

概要

○ 患者（4例目）

1 年代：20代

2 性別：男性

3 居住地：岐阜県（各務原市）

4 症状、経過：

3月19日 夜に発熱（38.0℃）、頭痛、全身倦怠感、関節痛、筋肉痛が出現。

3月20日 夜に、さらに咳が出現。

3月21日 症状が継続しているため、帰国者・接触者相談センターの紹介で医療機関Aを受診。新型コロナウイルス感染症を疑い、検体採取。

3月22日 検査を実施し、結果陽性と判明。医療機関Bに入院。

5 行動歴：

3月8日～17日、スペイン、フランスへの渡航歴あり。

渡航中を除き、マスクの着用あり。

発症後の外出は医療機関の受診以外なし。

公共交通機関の利用なし。

○ 患者（5例目）

1 年代：70代

2 性別：男性

3 居住地：岐阜県（可児市）

4 症状、経過：

3月16日 咳、全身倦怠感、食欲低下が出現。

3月17日 微熱があり、医療機関Cを受診、薬の処方を受け帰宅。

3月21日 救急車で医療機関Dを受診。胸部X線、CTで両側肺炎があり、入院。医療機関Dが帰国者・接触者相談センターに相談。呼吸状態悪化により挿管。

3月22日 検査を実施し、結果陽性と判明。

5 行動歴：

渡航歴なし。

発症後、外出時はマスクの着用あり。

発症後の外出は医療機関の受診以外なし。

公共交通機関の利用なし。

○ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とは

<感染の仕方>

風邪やインフルエンザと同様、患者の咳やくしゃみなどの飛沫を吸い込むことによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手で口や鼻に触ることによる接触感染によりうつると考えられています。

<感染力>

感染力は事例によって様々です。一部に、特定の方から多くの人に感染したと疑われる事例がある一方で、多くの事例では感染者は周囲の人にほとんど感染させていません。

<一般的な症状と重症化するリスク>

発熱や呼吸器症状が1週間前後つづくことが多く、強いだるさ（倦怠感）を訴える方が多くなっています。季節性インフルエンザよりも入院期間が長くなる事例が報告されています。

罹患しても軽症であったり、治癒したりする例も多いとされています。一方、重症度は、季節性インフルエンザと比べて高いリスクがあります。特に、高齢者や基礎疾患をお持ちの方では重症化するリスクが高まります。

【保健医療課からお知らせ】

県民の皆さまにおかれましては、咳エチケットや手洗いの徹底などの通常の感染症対策に努めていただきますようお願いいたします。風邪や季節性インフルエンザ対策と同様に、県民の皆さまお一人お一人の予防対策の実施がとても重要です。

<以下のいずれかに該当する方は、最寄りの保健所(帰国者・接触者相談センター)に電話でご相談ください。>

- ・風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方
- ・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方

以下のような方は重症化しやすいため、上記の状況が2日以上続く場合にご相談ください。

- ・高齢者、妊婦
- ・糖尿病、心不全、呼吸器疾患の基礎疾患がある方や透析を受けている方
- ・免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

【国内の新型コロナウイルス感染症患者発生状況(令和2年3月22日12時現在)】

- ・患者922名（国内事例907例、空港検疫4例、チャーター便帰国者事例11例）
- ・無症状病原体保有者121例（国内事例105例、空港検疫12例、チャーター便帰国者事例4例）
- ・陽性確定例3例（国内事例3例）
- ・国内死亡者36名